事業概要説明シート

事務事業番号　31181

事務事業名	職員被服等貸与事務		
事業開始年度	昭和32年度～	担当部署	職員課

根拠法令	枚方市職員被服等貸与規則
実施方法	■直営　□委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：　）
	□その他（　）
目　的 （何のために）	職員の服務規律の確保と業務の効率性、安全性等を確保するための一助として、枚方市職員被服等貸与規則に基づき、業務区分に応じた被服等を貸与している。
対　象 （誰・何を対象に）	枚方市職員
事業内容	本市の職員に被服の貸与を行っている。貸与する被服は以下のとおり。 男性事務職員（夏用事務服・冬用事務服）　女性事務職員（夏用事務服・冬用事務服・ベスト・スカート）　男性技術職員（夏用作業服・夏用作業ズボン・冬用作業服・冬用作業ズボン）　女性技術職員（夏用作業服・夏用作業ズボン・冬用作業服・冬用作業ズボン）　その他希望する職員で必要と認められる職員（防寒服） ※職種に限らず必要と認められれば希望の種類の被服を特別貸与している。
類似事業	なし
事業の必要性	職員の服務規律の確保と業務の効率性、安全性等を確保するために必要である。

コ　ス　ト

	H22年度決算				H23年度決算				H24年度当初予算			
	従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	0.10	人	811	千円	0.10	人	809	千円	0.10	人	800	千円
再任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
非常勤職員等	0.05	人	76	千円	0.01	人	32	千円	0.01	人	32	千円
人件費計(A)			887	千円			841	千円			832	千円
直接経費(B)			6,930	千円			4,979	千円			7,461	千円
総事業費(A+B)			7,817	千円			5,820	千円			8,293	千円

財源内訳

	H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
国庫支出金	0	千円	0	千円	0	千円
府支出金	0	千円	0	千円	0	千円
受益者負担（使用料等）	0	千円	0	千円	0	千円
その他	0	千円	0	千円	0	千円
一般財源	7,817	千円	5,820	千円	8,293	千円

平成23年度 事業費の主な内訳 （人件費除く）	内　容	金　額
	職員被服費（消耗品費　4,979）	4,979 千円
		千円
		千円

事業概要説明シート

事務事業番号　31181

事務事業名	職員被服等貸与事務		
事業開始年度	昭和32年度～	担当部署	職員課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
活動実績	① 被服の貸与実績	着	1,391	1,442	1,363
	②				
	③				
単位当たりコスト（総事業費/活動指標）	① 事業費　／　被服の貸与実績	円	5,620	4,036	6,084
	②				
	③				

成果目標（目標とする成果）	職員の服務規律の確保と業務の効率性、安全性等を確保する。	
比較参考値（他自治体での事業の例など）	北河内7市の状況は、門真市が事務服を廃止、四条畷市が管理職に限り事務服を廃止、交野市は事務服の廃止を検討している。その他3市については貸与を継続して行っている。	
特記事項	平成18年度より冬季事務服の定期貸与を廃止、夏季事務服の定期貸与期間を3年から5年に変更。	
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	今後も規則に基づいて適正に執行していく。
一次評価結果	事務服の必要性について検討が必要では	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	職員の業務における効率性や安全性への影響や、本市の服務規律のあり方を十分に踏まえて、今後もさらに適正な事務執行に努める。 事務服の必要性については、被服全体のあり方を常に検証し、事務服の位置づけを明確にした上で、その必要性の検討をすすめていく。